

小海高等学校生活指導係発行

見えていて、見えないふりをしているのか？ それとも本当に見えていないのか？

たとえば廊下にゴミが落ちているとします。それに気づけばたいいの場合はゴミを拾ってゴミ箱に入れると思います。玄関から上がる時に靴を脱ぎます。脱いだ靴は揃えると思います。そしてそこに揃っていない靴があったら揃えると思います。

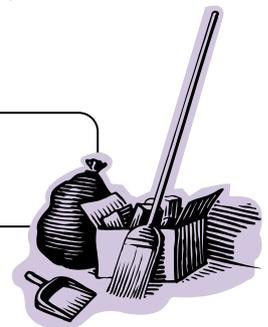
こういう一連のことを本校では「当たり前のことを当たり前に行く」という表現で表しています。

当たり前のことは当たり前に行くべきです。そこにゴミが落ちていれば拾うというのが「当たり前」です。もっと言えば、ゴミが出たらちゃんとゴミ箱へ捨てたり、ゴミを出さないように工夫をしたりすることが大切です。これも「当たり前」のことです。

最近ふと思うことがあります。

- ① そこにゴミが落ちていると気づいているのにそれを拾わない人
- ② そこにゴミが落ちていること自体に気づかない人

①と②ではどちらのほうが問題なのでしょうか？



日々の生活を過ごすにあたって、最も大切なことは「自分がやらなければならないことに意識が向くか？」ということだと思います。私たちは集団の中で生活をしています。その集団の中で自分は何をしなければならないのか？自分には何が求められているのか？ということが分からないことほど日々の生活を過ごすのに困難なことはありません。上のたとえで言うならば、ゴミに気づかない人は、自分は気にはならないから大丈夫かも知れませんが、周りの人から見れば気づくべき事にも気づかず何も出来ない人と思われてしまいます。

当たり前のことを行うには気配りが必要です。ゴミに気づくというたとえ話でしたが、毎日の生活の中で周りの人の気持ちを汲み取れる人になってほしいと願っています。

経費の節約&物は本来の目的で使用する

学校のトイレトペーパーで手を拭いている人はいませんか？灯油を節約する工夫を心がけながらストーブを使っていますか？ゴミを散らかしていませんか？節電に協力していますか？ロッカーや教室は整頓されていますか？清掃はきちんとやっていますか？

ひとつひとつのことを意識して経費の節約と過ごしやすい環境を作れるように協力して下さい。